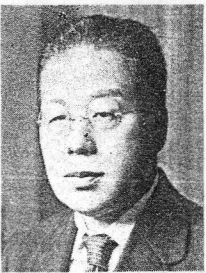


上司小劍 おのりけん 小説家。明治七年十一月十五日奈良縣生れ、昭和十一年九月一日歿（八五—一九四）。未名延實。筆名上司、上司子介、上司生等。明治二十六年大阪豫備學校中退。二十一年讀賣新聞社入社、文藝・社會部長、編輯局長等歴任し大正九年退社。この間の二十九年雜誌『簡易生活』創刊。昭和二十一年帝國藝術院會員。

著書『灰燼』（明治四十一年六月十五日春陽堂）、『父の婚禮』（大正四年三月十八日新潮社）、『小ひまき窓より』（大正四年三月二十日大同館書店）、『美女の死骸』（大正四年八月十五日鈴木二重書館刊『現代名作集』）、『金魚のうろこ』（大正五年二月二十日東雲堂書店『新生活と藝術叢書』）、『禮の夜』（大正六年十月十八日新潮社『代表的名作選集』）、『西洋法師』（大正十四年一月二十五日而立社『歴史人物傑作選集』）、『少年の頭・上巻』（合著・小野誠悟編大正十四年四月二十日第一出版協會『少年少女文學叢書』）、『現代長篇小説全集・16』上司小劍篇（東京）（昭和二年十一月一日新潮社）、『し新聞主任代記』（昭和九年二月二十一日中央公論社）、『清貧の生きる』（昭和十五年四月十日『百千倉書房』）、『餘裕』ゆたか（昭和十六年二月九日東洋書館）、『生々抄』（昭和十六年八月五日大東出版社『大東京名著選』）、『洋林光斗』（昭和十七年十月十五日厚生閣）、『勤王烈士の學ぶ』（合著・東京新聞社編、昭和十八年八月二十一日建設社）、『菅原道真』（昭和二十一年二月二十日生活社『日本叢書』）、『日本女流文學評論・近世篇』（中世・近世篇）（合著・今井鈔子編、昭和二十一年八月十日長野・明日香書房）、『上司小劍選集』（『工』平利生



二十一年八月十日長野・明日香書房）、『上司小劍選集』（『工』平利生

義春『昭和』二十一年十一月五日大阪・青葉出版株式會社）、『體の成

他五篇』(昭和二十一年十一月五日岩波書店)、『岩波文庫』等。